

第74回 通常総会

農畜産物支払高42億8,645万円

本組合の第74回通常総会が5月20日午前9時30分から農協2階会議室で開催されました。

本総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、規模を縮小した無来賓、議決権行使書面による議決を基本とした開催となりました。総会には正組合員168名の内、委任・書面議決を含む116名が出席しました（出席率69%）。

令和3年度事業報告、令和4年度事業計画の設定など8議案を審議し、全議案が原案通り可決決定されました。

高橋組合長による開会の挨拶では、「春先は、降雪の遅れにより土壌凍結が深く春掘りの野菜に被害がありましたが、春耕作業は順調に進みました。5月以降は、干ばつ・高温の影響もあり、一部作物では被害が発生しましたが、概ね順調な生育となりました。生産量については、平年並みまたは豊作の年となり、小麦・てん菜においては、過去最高の収量を確保することができました。酪農畜産においては、バターや脱脂粉乳の過剰在庫など、新型コロナウイルスの影響から、生乳生産抑制を余儀なくされ、乳用雌牛価格が大幅に下落しました。和牛素牛価格や枝肉価格も、新型コロナウイルス発生前に戻りつつありますが、依然として、脱していない状況であります。

このような状況の中で、当組合の農畜産物の支払高は交付金を除いて42億8,645万円、経常利益で8,341万円となり、計画以上の成果を上げる事が出来ました。これもひとえに組合員皆様の日々の営農努力と組合への結集の賜物と深く感謝申し上げます。」と挨拶しました。

令和3年度当期未処分剰余金9,048万円、剰余金処分案では出資配当(0.8%)、事業分量配当3,233万円の明細が示され原案通り承認されました。

令和4年度の収支計画では、事業総利益が4億9,037万円、経常利益は4,100万円を見込んでいます。

新年度の固定資産の取得については馬鈴薯選別カメラ、馬鈴薯倉庫リフト更新、透過型赤外分析器、牛蒡選果梱包機など、原案通り承認されました。

役員の選任議案では、理事候補7名、監事候補3名が原案通り選任されました。



就任にあたって



代表理事組合長

高橋 孝二

忙しい春耕期が過ぎ、組合員の皆様におかれましては、豊穰の秋への願いを込めつつ、日頃の圃場管理に多忙な日々を送られていることとご拝察申し上げます。

さて、去る5月20日に開催された第74回通常総会において理事の再任を受け、その後の理事会において代表理事組合長という大任をお受けすることとなり、その責務の重大さをひしひしと痛感しております。

RCEP協定の発効や新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢による資材価格の高騰など、近年の国際情勢はめまぐるしく変化し、我国の農業の先行は不透明な状況となっております。そのような中で、当農協として組合員の皆様の視点に立ち、制度変化に柔軟に対応できる体制の構築を進めなければなりません。

J Aの主体は組合員の皆様です。組合員の皆様が知恵を出し合い、農協の方向性を定め、将来像を創り上げていくような「組合員全員で作り育てるJ A」を目標に、役職員、そして組合員の皆様と協力し合いながら、組織運営を進めていきたいと考えております。そのためにも、J Aと組合員との強い結びつきを一番に事業展開を志向して参ります。

歴代の組合長をはじめ、先代の方々がこれまで築いてこられた組合の歴史に敬意を表しますとともに、札内の地域農業を維持発展させることに全力を尽くす所存です。

組合員の皆様には、ご理解・ご協力を切にお願いし、就任にあたっての挨拶とさせていただきます。



専務理事

中村 政昭

組合員の皆様におかれましては、豊穰の秋を願いながら、農作業に精励の毎日と存じます。

この度の第74回通常総会において役員選任議案が承認され、その後の理事会において

専務理事という大任をお受けすることとなりました。その責任と任務の重さをひしひしと感じております。微力ではございますが懸命に努めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

近年の農業を取り巻く情勢は、昨年11月2日に東アジアを中心とした15か国が参加するRCEP協定の発効要件が満たされ、令和4年1月1日に発効されたこと、ウクライナ情勢により資材の価格が高騰していることや、依然として猛威を振るう新型コロナウイルス感染症など、油断を許さない状況が続いております。当農協としましては、世界経済の動向を注視していく必要があります。

当農協の組織機構の中には農産・畜産・購買・管理・金融と5部門があり、総合農協として機能しております。それぞれの事業において、組合員との強い結びつきと安定した経営、財務基盤の適切な経営管理を図ることが求められます。これを支える基本は職員であり、職員個々の能力を最大限に発揮できる職場であるように取組み、健全経営につなげていきたいと考えております。組合員の皆様に信頼される事業展開を志向して参りますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、就任にあたっての挨拶とさせていただきます。



代表監事 七海 義浩

組合員の皆様におかれましては、農作業に毎日ご多忙の日々を過ごされていることと存じます。

この度、先の第74回通常総会において役員選任議案が承認され、その後の監事会において代表監事の職責を担うこととなり、身の引き締まる思いであります。JA役員経験のない私ですが、役職員や、組合員の皆様のご指導、ご支援を頂きながら微力ではありますが精一杯努めて参りますので、よろしくお願い致します。

コロナ禍や、ウクライナ情勢により、厳しい農業情勢が続いている状況ではございますが、内部管理体制を構築・運用し健全経営を図ることで、組合員の皆様に信頼される農協を目指していきたいと考えております。

監事会においては、内部監査室と連携して監査業務を通して経営全般の強化に取り組むとともに、不祥事防止の観点から役職員との意思疎通を図り、コンプライアンスの徹底に力を入れて取り組んでいきたいと考えております。

最後になりますが、本年も天候に恵まれ、大きな災害、農作業における事故もなく、組合員の皆様とご家族がご健勝で豊穡の秋を迎えられるよう祈念するとともに、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、就任にあたっての挨拶とさせていただきます。

新規就農者激励会

今年度から農業後継者として就農する方々を励ます新規就農者激励会が、6月24日に開催され、新規に就農される方4名が出席し高橋組合長から祝辞をいただき、激励状が贈呈されました。



幕別町畜産品評会

幕別町畜産品評会が、6月6日に幕別町南勢牧場多目的広場において開催されました。本会は、新型コロナウイルス感染症の影響から3年ぶりの開催となり、6月上旬としては、少し肌寒い気候の中での品評会となりました。

町内各地の畜産農家の皆さんが丹精込めて育てた乳用牛21頭、肉用牛11頭、合計32頭が出陳され、体格や毛並等を競いました。

審査の結果、当農協組合員出陳の「オーセンス レネゲード ダマス」号が乳用牛の部未経産牛カーフクラスで2位、「ミシエル ポリス チップ」号が乳用牛の部未経産牛ミドルクラスで4位、「セントベール エクスパンダー クリボー」号が乳用牛の部3才経産牛シニアクラスで3位という結果になりました。また、「セントベール エクスパンダー クリボー」号はベストプロダクト賞に選ばれました。



経営所得安定対策 加入申請受付

令和4年度経営所得安定対策の加入申請手続きを、6月16日より3日間の日程で農協2階会議室にて実施いたしました。

当組合における加入申請対象者につきましては、小麦・大豆・てん菜・でん粉原料用馬鈴しょの生産者となっております。今年度につきましては、85件（前年度86件）の申請を受け付けました。



女性部友の会 夏期研修

女性部友の会の夏期研修が、6月20日に開催されました。今年度は、部員12名と、そのお子さん8名が参加し、おびひろ動物園を訪問し、動物を見て好きな動物について語り合うなど親子で楽しんでいました。

昨年度までは、コロナ禍の影響で夏期研修を行うことができていなかったのですが、久しぶりに行われた活動に部員の皆さんは、和気藹々とした雰囲気の中で臨んでいました。



青年部環境整備事業

青年部の環境整備事業の一環として、依田地区の農産物加工センター及びコンバイン格納庫周辺、春日町の小麦乾燥工場周辺、豊町の野菜集出荷センター周辺の草刈りが、6月21日に行われ、総勢14名の部員が参加されました。

例年、草刈り終了後は、懇親会を開催していましたが、新型コロナウイルスの影響から草刈り作業のみを行いました。今年度最初の事業に、部員の皆さんは意見交換を行うなど有意義な時間を過ごしていました。

青年部の皆さん、ありがとうございました。

